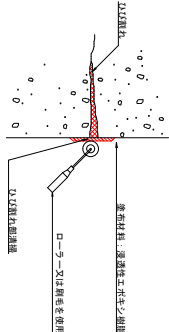


ひびわれ補修工（塗布工）
（浸透性エポキシ樹脂接着剤）



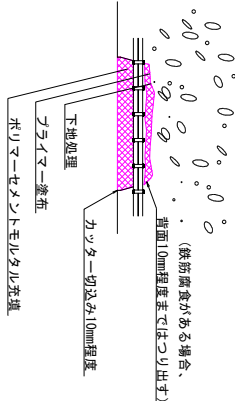
※ 施工手順

- 1 ひび割れ調査・マーキング
- 2 ひびわれ清掃
- 3 エポキシ樹脂の計量・混合
- 4 ひび割れへの塗布・充填・液寄せ
- 5 硬化養生

※ 注）

1. ひび割れの状態・幅・長さを確認し、マーキングを行う。
2. タスター刷毛、エアブロー等でひび割れを清掃する。
（降雨時及びひび割れ内に滞留水がある時の施工は不可）
3. 主剤・硬化剤を2：1（容量比）で計量し空気の巻き込みに注意し充分に攪拌・混合する。
（一度に混合する量は可使用時間内に使いきれぬ量とする）
4. ひび割れへの浸透を目視確認しながらローラー、刷毛等を用い、塗布・液寄せ→厚塗布を材料の可使用時間内に繰り返し行う。
5. 施工後、1時間程度は雨水に染み流さないように養生する。

断面修復工（左官工）
（ポリマーセメントモルタル）



※ 施工手順

- 1 補修範囲確認
- 2 劣化部分のはつり
- 3 清掃、鉄筋の錆落とし、防錆処理
- 4 はつったコンクリート面にグライマー塗布
- 5 欠損部にポリマーセメントモルタル充填
- 6 養生

※ 注）

1. 劣化、不況コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ10mm程度までコンクリートカッターにより切所自地を入れ入念に施工する。
2. はく離・鉄筋露出がある場合は、鉄筋の裏側10mm程度まではつり出し鉄筋の錆を落とし及び防錆処理した後、断面修復をすること。
3. はつり箇所は、断面修復前に入念に水洗い等を行い、所定の付着力を確保すること。